

保育所における自己点検・自己評価

いなぎのぞみ保育園

- A : たいへん良い
 B : 良い
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1)保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				日々の保育における計画・立案は子どもたちの年齢に見合った内容を設定することが出来た。		
	(2)設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			子どもの主体性を大切にしながら一人ひとりの保護者の状況や意向を理解し受容していくように努めていく。		
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				心身の発達が顕著な時期であり個人差を十分に配慮し、個々の育ちを考慮して作成した。		
	(2)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			日々の生活に合わせながら、好奇心や探求心を持って行われるように工夫している。子どもたちが生活しやすく楽しく過ごせるよう環境を整えた。		
行事について	(1)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			コロナ禍にありながら、感染症対策の為に制限が多かったが、行事の工夫を考え計画を立てていった。		
	(2)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				乳幼児の主体性を大切にしながら意欲的に興味を持って取り組めるようにしている。子どもたちが自主的に活動できるようにした。		
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。		○			職員がそれぞれの役割を理解し合い、能率的・合理的に出来るよう努めるようにする。	
		(2)職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。	○				職員は、それぞれの役割を理解しているが、更に互いの仕事内容が明確になっている方が効率よいと感じる。	
		(3)割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。	○				お互いの職責を十分に理解し合い、自分が行わなければならないことを考え行動していけるよう努めていく。	
経営・組織	運営	(1)自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			自分の職責を理解しつつ、助言を頂きながら研鑽し、常に相手の立場を考え助け合いながら運営に取り組んでいく。	
		保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。	○				子どもたちへの取り組みとして保健指導を行い、紙芝居やパネルを活用し身体の大切さを知らせていった。手洗いうがいの励行を徹底していった。
			(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				避難訓練・交通安全指導は計画に基づきながら、担当者と日程調整しながら実施している。振り返りを行い最善方法を立案していきたい。
			(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				日々の保育の中で、いつもと違う状態に気づき初期対応を大切にし、感染症の蔓延を防ぐためにも正しい情報を発信している。
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			室内外の安全点検を徹底して行っている。防犯カメラ設置、園周辺安全に配慮している。こども110番を設置し地域に発信している。	
研修	研修	(1)資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。			○		今年度は、コロナ禍において職員の資質向上のための研修に参加する機会が少なかった。オンライン等の参加は取り入れた。	
		(2)研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。			○		専門性を高めるための研修には参加している。ボランティア活動については参加出来ていない。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報についてはマニュアルに基づいて適正に行い、必要なものについてはシュレッダーをかけている。	
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。	○				各帳簿についても適正な時間・方法で作成処理している。	
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。	○				毎日・毎月必要な個所の点検を必ず行い、不備や修繕が必要な時は対応している。	
	(2)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○				年に3回避難訓練とは別に不審者に対する訓練を行っている。合言葉を決め万一の対応に備えている。	
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。	○				日頃から保護者の意見には耳を傾けている。地域との連携で、こども110番を設置した。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。	○				コロナ禍において、地域への交流は、園見学や園庭開放などで行っている。地域への支援活動が行われるよう努めたい。
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。また、地域の文化や生活に触れているか。				○	コロナ禍においてのボランティアには参加していない。近隣の神社などに触れ季節の風習に触れている。
	子育て支援の連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。		○			地域カレンダーを利用し園庭開放など計画を発信している。地域の方々に行事への参加が出来るようにしていく努力が必要。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。また、交流を図ることに前向きであるか。	○				子育て支援の重要性はよく理解している。交流できるよう更なる場をもうけて行きたい。
	評価部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。	○				地域の方々に保育園の運営に理解していただけるよう、お便りなどを掲示板で知らせている。保護者の意見を聞きより良い保育運営に心がけている。